



◀2016年7月、南スーダンの内戦により、20日間で4万3000人以上が暴力を逃れて隣国ウガンダに避難。UNHCRはウガンダ政府からの要請により緊急対応チームを派遣

▼母親に抱かれて、生後一週間で南スーダンから逃れてきた女の子の赤ちゃん。母親の体調が安定しない産後直後に逃れてきた状況からも、危険が迫っていたことがわかります



© UNHCR/D.Azia

紛争から逃れてきた子どもたちのために、何ができるのか

UNHCR倫理担当官(性的搾取及び虐待からの保護) 小田代 佳子

私が南スーダンで主に担当してきたのは、逃れてきた子どもたちの保護活動です。そこで出会った少女スーザンが言いました。「家族や苦しんでいる人の痛みを癒す医師になりたい」。紛争と児童婚から逃れ、14歳の時に避難してきた彼女。自身も心に傷を負いながら、なおも人の痛みを思うスーザンのような子どもたちのために何ができるのか。活動の中で、こうした場面に度々直面します。幸い彼女は、支援を受けて再び教育を受けられるようになりました。UNHCRは政府をはじめ各方面と協働し、逃れてきた子どもたちが心身に影響を受けることなく、教育の機会を再び得て、日常と未来への希望を取り戻せるよう活動しています。どうか子どもたちを守る力をUNHCRに貸していただけますよう、皆様のご支援を心よりお願いいたします。



© UNHCR

毎月の難民支援にご協力ください



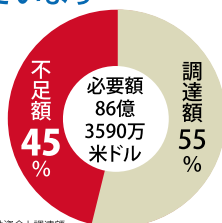
UNHCR
The UN Refugee Agency



緊急に必要とされています

難民の緊急援助活動は、毎月のご寄付があればこそ実現しています

緊急事態の発生後、UNHCRは72時間以内に始動し、援助活動を開始します。この迅速な出動を力強く支えているのが、世界中の皆様が積み重ねてくださっている毎月のご寄付です。



2019年必要活動資金と調達額
出典: Update on budgets and funding (2019, 2020-2021) EC/71/SC/CRP.6

毎月のご支援は、**ウガンダの例からご紹介**
こうして難民のもとへ届けられています

ある日突然避難を強いられ、住み慣れた故郷や大切な人、生活の基盤など、すべてを失った人々は、さまざまな支援を必要としています。でも決して、支援を待っているだけではありません。南スーダンから逃れ、避難先のウガンダで親を失った少女マーシーを育てるアイーシャは、そんなたくましい母親の一人です。彼女は支援を受けながら、どのように避難生活を送っているのでしょうか。

ユー・エヌ・エイチ・シー・アール
UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は
世界の難民の保護と支援を行う国連の機関です

- 1950年に設立以来、2度にわたりノーベル平和賞を受賞しました(1954年/1981年)
- 世界約130か国で約1万2800人の職員が活動しています
- 1991年~2000年の間、緒方貞子さんが第8代国連難民高等弁務官を務めました

国連UNHCR協会は、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の公式支援窓口です。皆様からのご寄付は、UNHCR本部(スイス・ジュネーブ)へ送金され、世界各地で実施される難民援助活動に役立てられます。

国連UNHCR協会は認定NPO法人です。ご寄付は税控除の対象になります。

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会
ゴシエン ナンミンニ
通話料無料 **0120-540-732**
(平日10時~19時)
〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3F

難民の命を守るために



「マーシー、今日から私があなたのママよ」

紛争の中で夫を失い、幼い4人の子どもを連れて紛争下の故郷・南スーダンから逃れてきたアイーシャ（28歳）。彼女が避難先で出会ったのが、親を失い、障がいを抱えるマーシー（推定4歳）。少しの間世話をしたことを機に、アイーシャは決断します。「私、この子を育てます」。そんな一家を支えるUNHCRの支援をご紹介します。

仮設住居



毎月

10,000円

のご支援で、
1年間にテント2張を
届けることができます

アイーシャと家族が避難生活を送る仮設住居。UNHCRは毛布や防水シート、蚊帳なども併せて配布し、衛生面と快適さに配慮した支援を行っています。また、障がいを抱えるマーシーのために必要な物資を提供しています。

国際社会からの支援が、

世界は今、難民の命を守る援助活動が危ぶまれる事態に直面しています。紛争や迫害により避難を強いられた人たちを支援する国連機関UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の活動資金が大幅に不足し、多くの命を守るために、今、毎月のご支援のご検討を広くお願いしております。

援助物資各種



毎月

5,000円

のご支援で、
1年間で31家族にキッチンセットを
届けることができます

アイーシャが仮設住居内に作った台所。水や食糧、キッチンセットなどの提供を受け、子どもたちに温かい食事を用意できるようになりました。皆で食卓を囲むことで、少しずつ日常を取り戻します。

教育支援



毎月

3,000円

のご支援で、
1年間で45人の子どもに教科書を
届けることができます

避難先のウガンダで、一家の子どもたちは学校に通えるようになりました。UNHCRは教室内やトイレなどの整備のほか、教科書や制服を提供するなど、さまざまな教育支援を行っています。



開く